

❁三笠中学校区

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども

▶三笠中学校区 地域教育協議会


<p>地域・子どもの現状</p>	<p>校区内を世界遺産に囲まれ、伝統的な遺跡や建築物と、近代的な公共施設がうまく調和された中で日々の生活が営まれている。各自治連合会とも、地域一体となって伝統行事や地域行事、佐保川清掃など取り組まれている。子どもたちも地域活動に参加し、地域交流も少しずつ進んできている。しかし現代のどの地域でも同じく、住民間の希薄化や核家族化が進む中で子どもたちの荒れなどの課題もあり、地域の子もたちを地域の力で保護者、学校とともに育んでいこうという、共育・協働の学校園づくりへの参画意識が徐々に広がってきている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>校区や地域に誇りをもって生活し、自ら地域の行事や活動に参画することで、所属意識や自己有用感・肯定感を高められることができること。</p>
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> * ドッジボール大会：校区内4小学校の枠を越え、三笠校区の交流の輪を広げ将来の地域を支える人材交流の場とする。 * 子ども未来会議：地域を見つめ今後の三笠校区について子どもの視点で考える。 * なら三笠まほろば文化祭：古くから文化の中心地であった三笠校区で、校区内の各校園や地域団体より文化的活動の発表を行い、地域の発展と住民間の交流を図る。 * クリーンキャンペーン、三笠ウォークラリー、ノーメディアデー、私の好きな漢字「一文字」等の実施。 * 年3回の広報紙の発行。




▶三笠中学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>小学校校区単位での学習会・防災訓練・清掃活動・行事等は参加人数も多く、熱心な取組を教職員も含め協働体制が構築されている。学校は生徒会・ユネスコクラブをはじめ部活動単位で活発に交流している。異動による教職員の事業への関心についても、地域担当を軸として「コミュニティ・スクール三笠」を共通認識し取組むことができる。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>地域河川清掃ボランティア活動、夏祭りや防災訓練をはじめ、さまざまな地域行事・活動にも積極的に参加するなどの交流体験を通して、他者を好意的に受けとめたり、他者との絆や地域とのつながりを感じとったりする中で「自己有用感」や「生きる力」を獲得させる一つとしたい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>学校は地域へ何ができるか、学校が地域へ求めるものは何かを考えた場合、地域ボランティアをはじめ地域行事に積極的な参加機会を生徒に与え、参加の中で地域とのかかわりを理解させ、将来にわたって地域を愛する生徒の育成を図る。また地域活動を通じて自己肯定感や有用感を身に付けさせる。学校ボランティアに協働してもらつ中で教員の「生徒と向き合う時間」の確保にも努める。</p>



▶椿井小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本校区は、世界遺産に指定された社寺や観光名所を有している。商店街や文化施設も多く、地域行事や伝統的な行事に接する機会も多い。 子ども達は、のびのびと素直な児童が多い。しかし、少人数の学校であることから、さまざまな人間関係を築いていく仕掛けが必要である。また、校区に遊び場が少なく体力の向上にも課題が見られる。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>椿井を愛する活力ある子ども</p>
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の教育力を活かし、特色ある教育活動を創造する。 本校の教育の三本柱である「国際理解教育」「特別支援教育」「キャリア教育」を充実させるために、地域から学び、発信していくことに取り組む。 

▶大宮小学校 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活発で、素直な子どもが多い。学習面では基礎的な学力や基本的な生活習慣が身につけていない子どもも見られる。引き続き、学力向上ならびに、規範意識の向上への取り組みが必要である。 自分に自信がなく、積極的に行動できない子どもが見られる。 体験不足から「想像力」が身につけていない子どもがみられる。 地域の各種団体の結束力は強く、学校への期待も高い。また地域で子どもを育てるという意識もあり、大変心強い。今後、コミュニティ・スクールの推進を含め、継続的な取り組みを進めるための人材の安定確保と活用も大切であると考える。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 常に感謝の心を持ち、他人を思いやる力。 大宮を誇りに思い、なかま、地域とともに育とうとする力。 確かな学力、強い体力、正しい判断力。 どんな事にも進んで行動できる力。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中で、さまざまな役割やその大切さ、自分の存在感に気づき、未来への夢や希望を持つ心を育てる。 学校・家庭・地域での体験を通して、何事にも自信を持ち、正しい判断力を養い、自己の生き方について考えを深め、自ら進んで実践できる力や態度を育てる。 

▶大安寺西小学校 運営委員会


<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>地域との連携のなかで学習を進め、本校の特色である雅楽・芸術体験等の学習の中で、高学年児童が自発的に下学年児童に楽器演奏等について指導するなど、行事を受け継いでいこうとする様子が見られる。自ら活動する内容には意欲的に参加する児童が多く、複合的原因によるトラブルも徐々に減少している。図書ボランティアによる読書活動支援、専門家や地域の方による佐保川学習の充実、スポーツ講師による体力向上についての取組、等も継続することができ、本年度は学習面にも力を入れたい。佐保川清掃に協力する保護者・児童も増えている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>○元気よく挨拶する力 ○判断力をもち、周囲と協力して活動する力</p>
<p>取組内容</p>	<p>○子どもの力を高める事業…さまざまな学習活動・クラブ活動等において、地域人材やネットワークの支援を生かし、子どもの力を高める。 ○地域と共に学ぶ事業…さまざまな地域行事等において、地域の人々とともに活動する中で、地域のよさに気づかせる。 ○環境整備事業… 地域の人々と環境整備活動する中で、地域の環境を大切にすることを育む。</p>



▶佐保川小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>昨今の子どもたちには、自分の住んでいる地域への帰属意識が低下しているように感じられる。このことは、本校でも例外ではない。本校は、佐保川や平城宮跡、法華寺など多くの人々に知られた名所旧跡に恵まれた環境にある。特に佐保川は、「南都八景」の一つに詠われたホタルの名所でもある。この佐保川を守る活動等を通して、「自ら考え判断できる、がまん強い子」を育てたいと考えている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり聴ける子。 ・がまん強い子。 ・人の気持ちがわかる子。 ・しなやかな体をもつ子。 ・夢を持ち努力する子。
<p>取組内容</p>	<p>○佐保川のホタル復活への取組を進める。 ○文化的歴史遺産や地域文化の活用を目指した取組を進める。 ○佐保川清掃を通して、地域を愛する心を育み、地域の人たちとの交流を図る。 ○地域の祭りに参加することで、地域を誇りに思う心を育む。</p>



▶大宮幼稚園 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>園児は子どもらしく素直である。家庭では、室内で過ごすことが多く、また、自転車の送迎で、歩く機会の減少傾向がある。戸外遊びの環境づくり、体力づくりの取組を進めることで、自ら戸外へ出て、身近な環境にかかわり、意欲的に遊ぶ姿が見られている。遊びや生活に意欲的に取組むため、引き続き、健康なからだづくりの必要性を感じる。地域で子ども育てていく基盤があり、大変心強い。子どもたちは、地域の方とのふれあいを楽しみにしている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な環境（ひと・もの・こと）に、自らかかわり、自分で行動できるたくましい力 ・健康な生活に必要な基本的な生活習慣を身に付け、自ら進んで行う力 ・自ら心と体を動かし、主体的に遊ぶ力 ・地域の方とつながることで、安心感を持ち、自信を持って生活していく力
<p>取組内容</p>	<p>・全ての事業において、人とふれあう喜びやつながりを感じ、自信を持ち生活していく力を育む。また、地域を知り、地域の良さに気付かせていく。「体力づくり事業」「子育て支援事業」では、健康な生活に必要な習慣を身に付け、自立心やたくましい心を育てる。そして、保護者も共に、健康なからだづくりへの関心を高め、学ぶ機会とする。「環境整備事業」では、地域の方や保護者と共に活動することで、身近な環境を大切にすることを育む。</p> 

▶大安寺西幼稚園 運営委員会	
<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>子どもたちは身近な環境に働きかけ、繰り返し試したり工夫したりしながら友達と遊ぶ事を楽しんでいる。ほとんどが核家族で人との関わりが希薄だと思われる。地域の方々とのふれ合う機会を多くもってきたことで、地域の方の優しさに触れ親子共に人と関わることを楽しいと感じるようになってきている。</p> <p>園への送迎はほとんどが自転車で、家庭において歩いたり身体を動かして遊んだりすることも少ないように感じるので、思いっきり身体を動かす楽しさを感じられるような保育や事業をする必要がある。</p> <p>隣接している小学校との交流も計画的に交流し学びを繋げている。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な環境に好奇心や探求心をもって関わる力 ・自分の気持ちを進んで表現しようとする力 ・身近な人に親しみをもち関わろうとする力 ・大安寺西地域を好きになり、大切に思う力
<p>取組内容</p>	<p>地域の教育力や人材を活かした保育内容を創造するとともに、地域の方々とのふれ合う機会を大切にし、地域とともにある幼稚園づくりの推進を心がける。</p> <p>また、地域に出向く機会を意図的につくり、地域を知り、新しい発見を喜び、地域を好きになる保育内容を創造する。</p> 